



# 環境経営レポート

2025年度 活動報告（2025年1月1日～2025年12月31日）



株式会社 東興電機製作所

作成日：2026年3月10日

改訂日：2026年4月14日



目次

1. はじめに .....	3
2. 組織の概要 .....	4
3. 対象範囲・対象期間 .....	5
4. 環境経営方針 .....	6
5. 実施体制 .....	7
6. 環境経営目標および実績 .....	9
7. 環境経営活動計画・取組結果と評価 .....	13
8. 活動内容の紹介 .....	33
9. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無 .....	35
10. 外部からの苦情などの受付状況及び対応結果 .....	36
11. 代表者による全体評価と見直しの結果 .....	37

## 1. はじめに

株式会社東興電機製作所は 1963 年に創業し、製造部門（医療機器 精密機器 機械加工/組立、超精密微細配線加工）と、IT に関する様々なサービスを提供する IT サービス部（「TOKO DS」）から構成されています。

当社のエコ活動は、2008 年新年、「今年は環境問題に社員全員が関心を持ち、会社として何ができるか考え、具体的に行動していこう」という社長の挨拶から始まりました。同年 6 月、取引先との会合で「エコアクション 21」の存在を知り、認証取得を目指して取り組みを開始。翌 2009 年 4 月には認証を取得し、2019 年には、認証・登録 10 年継続企業として表彰されています。

現在も、エコアクション 21 のガイドラインに則り、省エネ・省資源・廃棄物削減などの環境保全活動に継続して取り組んでいます。



## 2. 組織の概要

事業所名及び代表者氏名

株式会社 東興電機製作所 取締役社長 土橋 一雄

資本金

1,000 万円

設立

1963 年 6 月

事業所所在地

三鷹本社：〒180-0006 東京都武蔵野市中町 1-9-5 第一中央ビル 4 階

青梅工場：〒198-0022 東京都青梅市藤橋 3-3-5

柏事業所：〒277-0803 千葉県柏市小青田 5-12

EMS 責任者氏名及び連絡先

川本 純子

TEL：0422 55 5055(代表)/FAX：0422 55 5051/メール：soumu@tokods.com

事業内容

三鷹本社（IT サービス部）：

Web サイト/IT 機器検証、取扱説明書・マニュアル制作、技術翻訳

青梅工場（製造部）：

超精密微細配線加工、医療機器 精密機器 機械加工/組立、試作製作

柏事業所（製造部）：

超精密微細配線加工、医療機器組立、試作製作

規模

従業員数：49 名（2025 年 12 月時点）

敷地面積：三鷹本社：86.1 m<sup>2</sup>/青梅工場：1495.96 m<sup>2</sup>/柏事業所：198.72 m<sup>2</sup>

取得認証

ISO9001（精密電子機器と電気部品の製造および修理）、ISO13485（超音波診断用

プローブの製造）、ETL マーク(北米)、医療機器製造業、他





### 3. 対象範囲・対象期間

認証・登録の対象範囲：全社（三鷹本社、青梅工場、柏事業所）

対象期間：2025年1月1日～2025年12月31日



## 4. 環境経営方針

# 株式会社東興電機製作所 環境経営方針

株式会社東興電機製作所は、医療機器の製造、精密機器の製造およびITに関する様々なサービスを提供している、環境負荷の低い事業所です。次世代に豊かな地球環境を引き継ぐため、社員ひとりひとりが楽しみながら、環境保全活動の取り組みを継続し改善します。

- (1) 製造工程、ITサービス業務で使用する電気消費量の削減に取り組みます。
- (2) 社員全員が会社の環境負荷を把握し、省エネルギー・廃棄物の削減に努めます。
- (3) 製品不良率の削減、適時納品、およびIT技術の活用による業務効率化により、環境負荷の低減に取り組みます。
- (4) 社員全員が環境保全に対する意識向上に努めます。
- (5) 社外に環境保全活動の重要性を発信していきます。
- (6) 環境に関する法規制や条例および当社が合意するその他の要求事項を遵守します。

制定日 2008年6月30日

改訂日 2020年3月31日

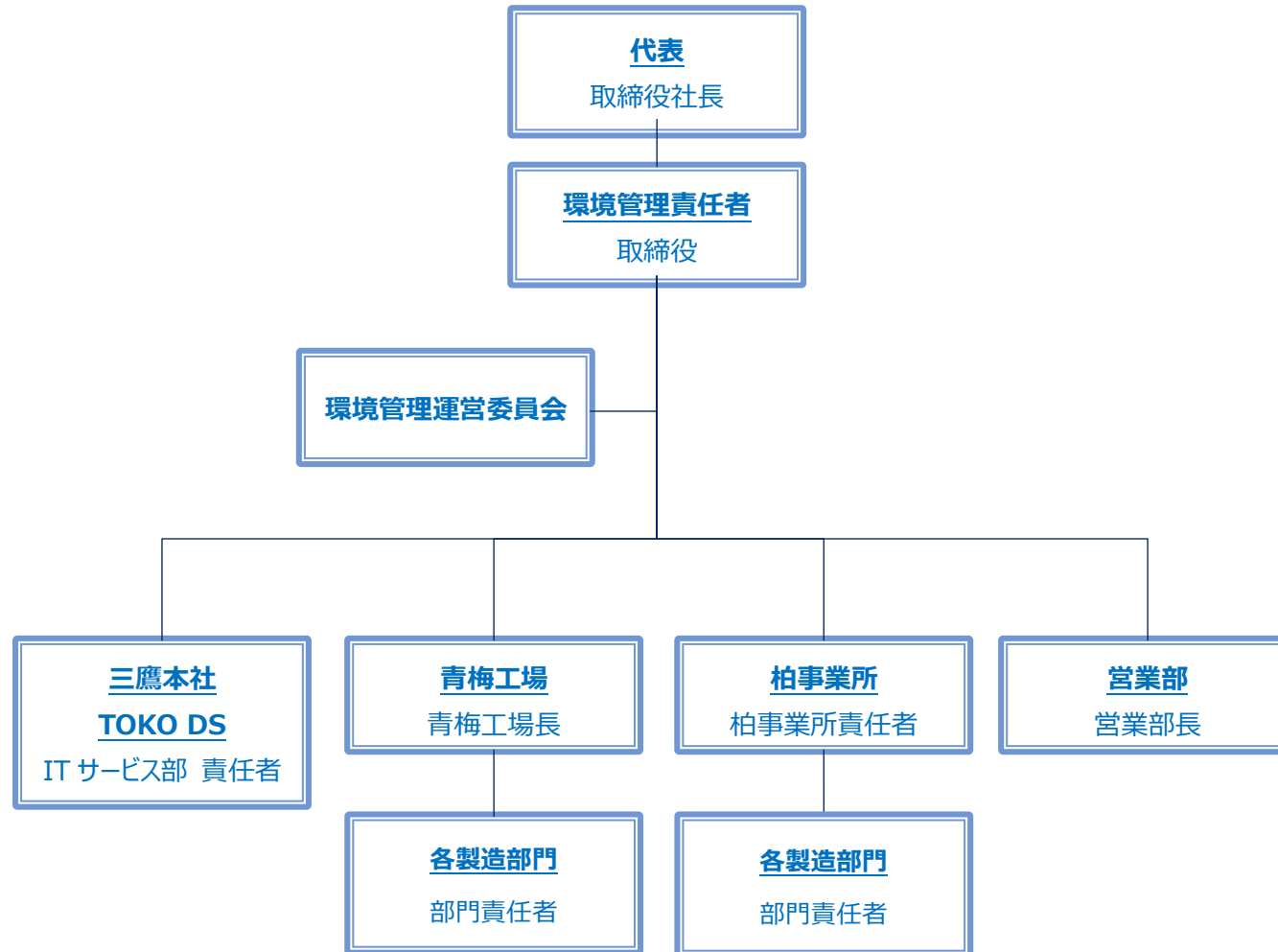
2024年4月10日

2026年3月31日

株式会社東興電機製作所

取締役社長 土橋 一雄

## 5. 実施体制



## 役割、責任及び権限

\* 「EMS」 = 環境マネジメントシステム、「EA21」 = 「エコアクション 21」

役割	役割、責任及び権限
代表	1 代表者として環境経営全般に関して責任と権限を持つ
	2 経営における課題とチャンスを整理し、明確にする
	3 環境方針の作成、見直しを行う
	4 環境方針を承認、周知する
	5 資源（人・もの・金）の決定権を有する
	6 環境管理体制の整備を行う
	7 定期的に EA21 全体の取組状況に関し評価、見直しを実施する
	8 環境管理責任者、環境運営委員等を任命する
環境管理 責任者	1 EA21 ガイドラインの要求事項を満たす環境経営システムを構築、実行し、実績の向上をはかる
	2 上記 1 の結果を代表者へ報告する
	3 EA21 文書類の承認、決済を行う
	4 環境委員会の委員長として環境保全活動全般の舵取り、実行推進を行う
	5 資源（人・もの・金）の承認を行う
	6 環境委員、部門代表を指名する
	7 社外からの苦情などの環境管理情報を受理、記録する
	8 その他、EMS の確立、実施、維持及び管理に関し必要な業務を行う
	9 各拠点の環境経営活動計画の取組を承認する
環境運営 委員会	1 EMS の運用管理に必要な人的資源、技能等の準備を行う
	2 環境管理責任者を推薦し、EMS の確立、実施、維持等に関する業務及び、EMS の実績に関し本会議に報告する業務を行う
	3 環境経営目標の設定及び環境経営活動計画の作成、見直しを行う
	4 工場長は各拠点の環境経営目標の設定及び環境経営活動計画の作成、見直しを行う
	5 環境経営の手順書の作成及び改訂を行う
	6 環境への負荷の自己チェックを実施する
	7 環境への取り組みの自己チェックを実施する
	8 工場長は各拠点の環境へ負荷及び取組の自己チェックを実施する
	9 各拠点の環境経営活動計画の取組結果作成及び評価を実施する
	10 EMS の見直しを行う
	11 環境管理委員会の円滑な運営のための各部門内の連絡・調整をする

## 6. 環境経営目標および実績

### (株)東興電機製作所 2025年度 環境経営目標および実績

計画作成日：2025年 2月 12日、実績記録日：2026年 2月20日  
作成・記録者：馬場 桂（環境管理運営委員会）、承認者：川本 純子（環境管理責任者）

---

#### ■2025年の目標

- 1) 環境負荷の低減 - 省エネルギーの推進  
基準年（2024年）実績に対し、現状維持
- 2) 廃棄物の削減及びリサイクルの推進  
・廃棄物の排出量：基準年（2024年）実績に対し、現状維持  
・廃棄物等の分別区分、分別の実施方式、保管場所の明確化・表示方法、マニフェストの管理
- 3) 水使用量の削減  
基準年（2024年）実績に対し、現状維持
- 4) 化学物質の適正管理  
適性管理、監視強化の推進
- 5) 環境に関する取組の向上  
現場の意識向上
- 6) 製品およびサービスへの環境配慮  
業務の効率化（不良の削減、IT技術の活用）および顧客要求に従った環境負荷物質の製品への含有の削減、禁止の徹底

(参考) 中長期目標：2024年-2026年

※2026年4月見直し実施

対象項目	2023年度実績値	中長期目標		
		2024年度	2025年度	2026年度
1) 環境負荷の低減・省エネルギーの推進				
CO2排出量の削減	73.65 kg-CO2/人	基準年(2023年)実績に対し、 現状維持	基準年(2024年)実績に対し、 現状維持	基準年(2025年)実績に対し、 1%削減
CO2排出量の削減 -電力使用量の削減	150.46 kWh/人	基準年(2023年)実績に対し、 現状維持	基準年(2024年)実績に対し、 現状維持	基準年(2025年)実績に対し、 1%削減
CO2排出量の削減 -ガンリン使用量の削減	3.40 L/人	基準年(2023年)実績に対し、 現状維持	基準年(2024年)実績に対し、 現状維持	基準年(2025年)実績に対し、 1%削減
CO2排出量の削減 -軽油使用量の削減	3.76 L/人	基準年(2023年)実績に対し、 現状維持	基準年(2024年)実績に対し、 現状維持	基準年(2025年)実績に対し、 1%削減
2) 廃棄物の削減及びリサイクルの推進				
-廃棄物の排出量の削減	5.72 kg/人	基準年(2023年)実績に対し、 現状維持	基準年(2024年)実績に対し、 現状維持	基準年(2025年)実績に対し、 1%削減
-廃棄物の適正管理		<ul style="list-style-type: none"> <li>・廃棄物等の分別の徹底</li> <li>・分別の実施方式、保管場所の明確化</li> <li>・マニフェストの管理徹底</li> </ul>		
対象項目	2023年度実績値	中長期目標		
		2024年	2025年度	2026年度
3) 水使用量の削減				
-上水使用量の削減 ※三鷹本社は除く	0.69 m3/人	基準年(2023年)実績に対し、 現状維持	基準年(2024年)実績に対し、 現状維持	基準年(2025年)実績に対し、 1%削減
4) 化学物質の適正管理				
-化学物質の適正管理		<ul style="list-style-type: none"> <li>・管理対象化学物質の使用量、保管量管理の継続</li> <li>・顧客からの環境負荷物質調査依頼への対応</li> <li>・新しい化学物質使用の監視強化</li> </ul>		
5) 製品およびサービスへの環境配慮				
-不良の削減 -IT技術の活用 -環境負荷物質の製品への含有の削減、禁止		業務の効率化および顧客要求に従った環境負荷物質の製品への含有の削減、禁止の徹底 <ul style="list-style-type: none"> <li>・不良の削減               <ul style="list-style-type: none"> <li>-不良出荷 部門 0件</li> <li>-破損弁償 各製造部門 0件</li> </ul> </li> <li>・IT技術の活用               <ul style="list-style-type: none"> <li>-生産性の向上(間接部門)</li> </ul> </li> </ul> 帳票システム化による属人化の解消		

## ■2025 年の実績

CO2 の総排出量 (kg-co2) は以下の通りです。

2023 年度	2024 年度	2025 年度
37,046.23 kg-CO2	33,788.44 kg-CO2	38,405.24 kg-CO2

※「従業員数」は年間平均 (切り上げ)

対象項目	目標	(原単位実績)			実績 (原単位実績)	
		2023年度	2024年度	2025年度目標値	2025年度	
		従業員数：42人	従業員数：49人	従業員数：49人	従業員数：48人	
1) 環境負荷の低減 - 省エネルギーの推進						
CO2排出量の削減	基準年(2024年) 実績に対し、現状維持	73.65 kg-CO2/人	58.06 kg-CO2/人	58.06 kg-CO2/人	増加	67.02 kg-CO2/人
CO2排出量の削減 - 電力使用量の削減	基準年(2024年) 実績に対し、現状維持	150.46 kWh/人	128.28 kWh/人	128.28 kWh/人	増加	133.48 kWh/人
CO2排出量の削減 - ガソリン使用量の削減	基準年(2024年) 実績に対し、現状維持	3.40 L/人	1.79 L/人	1.79 L/人	削減	1.31 L/人
CO2排出量の削減 - 軽油使用量の削減	基準年(2024年) 実績に対し、現状維持	3.76 L/人	2.79 L/人	2.79 L/人	増加	4.57 L/人
2) 廃棄物の削減及びリサイクルの推進						
廃棄物の排出量の削減 廃棄物の適正管理	廃棄物の排出量：基準年(2024年) 実績に対し、現状維持 廃棄物等の分別区分、分別の実施方式、保管場所の明確化・表示方法、マニフェストの管理	5.72 kg/人	5.52 kg/人	5.52 kg/人	削減	4.21 kg/人
3) 水使用量の削減						
上水使用量の削減 ※三鷹本社は除く	基準年(2024年) 実績に対し、現状維持	0.69 m/人	0.52 m/人	0.52 m/人	増加	0.57 m/人

対象項目	目標	実績
4) 化学物質の適正管理		
化学物質の適正管理	適性管理、監視強化の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・管理対象化学物質の使用量、保管量管理の継続</li> <li>・環境負荷物質調査依頼への対応</li> <li>・新しい化学物質使用の監視強化</li> </ul>
5) 環境に関する取組の向上		
現場の意識向上	各事業所のエネルギー使用実績の周知 SDGsに関する啓発活動	<p>掲示物を作成し、各事業所へ掲示した。 各事業所の全体ミーティングで周知した。 弊社事業とSDGs目標を関連付け、社内外に周知する取組は実施できなかった</p>
6) 製品およびサービスへの環境配慮		
不良の削減 IT技術の活用 環境負荷物質の製品への含有の削減、禁止	業務の効率化（不良の削減、IT技術の活用）および顧客要求に従った環境負荷物質の製品への含有の削減、禁止の徹底	<p>不良記録の徹底、再発防止処置の徹底 間接部門の作業効率化 帳票システム化による属人化の解消 環境負荷物質の製品含有の削減、禁止の徹底</p>

\*保管：環境管理運営委員会

排出係数：電力（東京電力エネルギーパートナー）：0.421 kg-CO<sub>2</sub>/kWh

電力（ミツウロコグリーンエネルギー）：0.387 kg-CO<sub>2</sub>/kWh

ガソリン：0.0686kg-CO<sub>2</sub>/MJ

軽油：0.0690kg-CO<sub>2</sub>/MJ

## 7. 環境経営活動計画・取組結果と評価

### 7-1. 青梅工場

#### (株)東興電機製作所 青梅工場 2025年度 環境経営活動計画・取組結果と評価

計画作成日：2025年 2月 18日、最終更新日：2026年 2月27日

作成者：馬場 桂（環境管理運営委員会） 評価責任者：鈴木 秀和（環境管理運営委員会） 承認者：川本 純子（環境管理責任者）

#### ■取組内容

##### 1. 行動目標（定性目標）

対象項目	取組内容	取組内容詳細	取組の実績（評価○/△/×を記入）								取組の実績 （コメント）	担当者
			青梅 MA課		青梅 MP課		青梅 SP課		青梅 営業・資材			
			5月	1月	5月	1月	5月	1月	5月	1月		
1) 環境負荷の低減 - 省エネルギーの推進												
CO2排出量の削減 - 電力使用量の削減	不要照明の消灯	各部所において、不要箇所の頻繁な消灯(昼休みは消灯)をしていますか？	○	○	○	○	○	○	○	○	決められた事を徹底して遵守しています。	工場長
	周辺機器の節電	長時間不使用時にはPCをスタンバイモードもしくは電源OFFにしていますか？	○	○	○	○	○	○	○	○		
		電気ボイラの長時間の保温を避けていますか？	○	○	○	○	○	○	○	○		
		冷蔵庫の温度調整は室温に合わせて調整していますか？	○	○	○	○	○	○	○	○		
	室内温度調節の徹底（エアコン）	冷房温度28°C±1°C、暖房温度20°C±1°Cに設定、ケルビズ、ウォームビズを実行していますか？	○	○	○	○	○	○	○	○		
		エアコンのフィルター清掃及び点検の実施をしていますか？	○	○	○	○	○	○	○	○		
遮光スクリーン、ブラインド及び窓の開閉で室温調整していますか？		○	○	○	○	--	○	○	○			
CO2排出量の削減 - ガソリン使用量の削減	車両の点検整備の徹底	点検整備を適宜実施し、燃費を向上させる取り組みをしていますか？	○	○	--	--	--	--	○	○	不要な荷物は降ろす。	車両使用者

- 軽油使用量の削減	エコドライブの実践	エコ運転、アイドリングストップをしていますか？	○	○	--	--	--	--	○	○	速度を一定に保つ
		燃費効率の良い配送経路の検討をしていますか？	○	○	--	--	--	--	○	○	配送経路の検討をして
		交通法規を順守していますか？ 過積載をしていませんか？	○	○	--	--	--	--	○	○	交通法規の順守・過積載
	適切な資源の選択、設定	公共交通機関での移動を心がけていますか？	○	○	--	--	--	--	○	○	を守っています。

対象項目	取組内容	取組内容詳細	取組の実績（評価○/△/×を記入）								取組の実績 （コメント）	担当者
			青梅 MA課		青梅 MP課		青梅 SP課		青梅 営業・資材			
			5月	1月	5月	1月	5月	1月	5月	1月		
2) 廃棄物の削減及びリサイクルの推進												
廃棄物の排出量の削減 廃棄物の適正管理	分別の徹底	ゴミの分別を徹底していますか？	○	○	○	○	○	○	○	○	3Rを意識する事が効果的で分別が出来ている。	工場長
	3R（リデュース、リユース、リサイクル）の徹底	使用済みインカートリッジは業者指定のリサイクル店に持って行ってますか？	○	○	○	○	○	○	○	○		
		部材の端材等の有効利用していますか？	○	○	○	○	○	○	○	○		
	紙資源の削減（ペーパーレス）	社内文書の電子化（電子メールの活用）をしていますか？	○	○	○	○	○	○	○	○		
		両面印刷や集約印刷、省インキモードでの印刷をしていますか？	○	○	○	○	○	○	○	○		
社内文書の裏紙利用をしていますか？		○	○	○	○	○	○	○	○			
3) 水使用量の削減												
上水使用量の削減	節水の徹底	各蛇口の節水をしていますか？	○	○	○	○	○	○	○	○	各蛇口に節水表示貼付け	工場長
	漏水点検の実施	蛇口等の水漏れ点検をしていますか？	○	○	○	○	○	○	○	○		
4) 化学物質の管理												
化学物質の適正管理	適正使用量、保管量の把握を継続	化学物質管理台帳の運用、定期点検、記録にて継続管理していますか？	--	--	○	○	○	--	--	--	--	化学物質管理担当者
		施錠された保管庫による紛失、誤使用防止をしていますか？	--	--	○	○	○	--	--	--		
	環境負荷物質調査依頼への対応	顧客からの適合要求に対しての迅速な情報提供をしていますか？	--	--		--	○	--	--	--	--	品質管理室長
	新しい化学物質使用の監視強化	該当物質について代替えなど検討および正しい届出がされているかの確認をしていますか？	--	--		--	○	--	--	--		

対象項目	取組内容	取組内容詳細	取組の実績（評価○/△/×を記入）								取組の実績 （コメント）	担当者
			青梅 MA課		青梅 MP課		青梅 SP課		青梅 営業・資材			
			5月	1月	5月	1月	5月	1月	5月	1月		
5) 環境に関する取組の向上												
現場の意識向上	各事業所ごとの目標を設定 各事業所のエネルギー使用実績の周知	各事業所にて目標を設定 全体ミーティングでの周知	--	--	--	--	--	--	--	--	--	環境管理 責任者
6) 製品およびサービスへの環境配慮												
不良の削減 IT技術の活用 環境負荷物質の 製品への含有の 削減、禁止	業務の効率化（不良の削減、IT技術の活用） 顧客要求に従った環境負荷物質の製品への含有の削減、禁止の徹底	RoHS指令REACH対応管理規定に、規制物質の明確化、製造環境への混入防止策等を規定、管理していますか？	○	○	○	○	○	○	○	○	決められた通りに出来ている。	工場長
		有機溶剤は決められた通り管理されていますか？	○	○	○	○	--	--	--	--		
		新規供給先について新規供給者評価を実施していますか？ （RoHSなど規制物質不含有証明が出来ない場合は取引を行いません）	--	--	--	--	--	--	--	--		

※ISO 内部監査に付随して確認

年間評価：

\*従業員が決められた事を守り、実行している。

(株)東興電機製作所 (青梅工場)

2025年度 環境経営活動計画・取組結果と評価

計画作成日：2025年2月18日 最終更新日：2026年2月27日

作成者：馬場 桂 (環境管理運営委員会)、評価・責任者：鈴木 秀和 (環境管理運営委員会)、承認者：川本 純子 (環境管理責任者)

■取組内容

1.行動目標(定性目標)

対象項目	取組内容	取組内容詳細	取組の実績(評価○/△/×:コメント)		実施担当
			1-6月	7-12月	
			評価:コメント	評価:コメント	
2)廃棄物の削減及びリサイクルの推進					
廃棄物の排出量の削減 廃棄物の適正管理	分別の徹底	・ゴミの分別を徹底する。	○:徹底出来ている	○:徹底出来ている	青梅工場 従業員
		・段ボール・ビニール袋等で再利用出来る物は	△:全て再利用出来 ていない	△:出来ている物も あれば出来ていない 物もある。	

\*段ボール・ビニール袋等は完成品の梱包時に利用出来る物は再利用の徹底をする。

2.数値目標(定量目標)

対象項目	取組内容	評価	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	【参考】 月平均
2)廃棄物の削減及びリサイクルの推進															
廃棄物の排出量の削減(Kg/人)	目標		15.97	7.33	5.55	6.18	6.57	5.28	4.86	5	4.05	6.51	6.35	8.66	6.859167
	実績		4.41	3.82	5.45	5.65	8.53	5.76	3.53	3.97	6.47	4.41	3.76	5.12	5.073333
	評価		○	○	○	○	×	△	○	○	×	○	○	○	△

評価基準

○:達成率80%以上100% △:達成率50%以上80%未満達成 ×:達成率50%未満

## 7-2. 柏事業所

**株東興電機製作所 柏事業所**  
**2025年度 環境経営活動計画・取組結果と評価**

計画作成日：2025年 2月 12日、最終更新日：2026年 2月24日

作成者：馬場 桂（環境管理運営委員会） 評価責任者：佐藤 隆久（環境管理運営委員会） 承認者：川本 純子（環境管理責任者）

**取組内容**
**1. 行動目標（定性目標）**

対象項目	取組内容	取組内容詳細	取組の実績（評価○/△/×を記入）			取組の実績（コメント）	実施担当
			柏MP課	柏営業	柏設備		
1) 環境負荷の低減 - 省エネルギーの推進							
CO2排出量の削減 - 電力使用量の削減	不要照明の消灯	各部所において、不要箇所の頻繁な消灯(昼休みは消灯)をしていますか？	○	○	○	以下実施済み	工場長
	周辺機器の節電	長時間不使用時にはPCをスタンバイモードもしくは電源OFFにしていますか？	○	○	○		
		電気ボットの長時間の保温を避けていますか？	○	○	○		
		冷蔵庫の温度調整は室温に合わせて調整していますか？	○	○	○	猛暑日の冷房温度は適正な室内温度を優先させる	
	室内温度調節の徹底（エアコン）	冷房温度28°C±1°C、暖房温度20°C±1°Cに設定、ケルビズ、ウォームビズを実行していますか？	○	○	○	エアコンフィルタ-毎月末月曜日実施	
		エアコンのフィルタ-清掃及び点検の実施をしていますか？	○	○	○		
		遮光スクリーン、ブラインド及び窓の開閉で室温調整していますか？	○	○	○	窓の開閉不可ブラインドのみ	

CO2排出量の削減 - ガソリン使用量の削減 - 軽油使用量の削減	車両の点検整備の徹底	点検整備を適宜実施し、燃費を向上させる取り組みをしていますか？	--	○	○	以下実施済み	車両使用者
	エコドライブの実践	エコ運転、アイドリングストップをしていますか？	○	○	--		
		燃費効率の良い配送経路の検討をしていますか？	○	○	○		
		交通法規を順守していますか？ 過積載をしていませんか？	○	○	○		
	適切な資源の選択、設定	公共交通機関での移動を心がけていますか？	○	--	--		

対象項目	取組内容	取組内容詳細	取組の実績（評価○/△/×を記入）			取組の実績（コメント）	実施担当
			柏MP課	柏営業	柏設備		
2) 廃棄物の削減及びリサイクルの推進							
廃棄物の排出量の削減 廃棄物の適正管理	分別の徹底	ゴミの分別を徹底していますか？	○	○	○	以下実施済み	工場長
	3R（リデュース、リユース、リサイクル）の徹底	使用済みインクカートリッジは業者指定のリサイクル店に持って行っていきますか？	○	○	○		
		部材の端材等の有効利用していますか？	○	○	○		
	紙資源の削減（ペーパーレス）	社内文書の電子化（電子メールの活用）をしていますか？	○	○	○		
		両面印刷や集約印刷、省インクモードでの印刷をしていますか？	○	○	○		
		社内文書の裏紙利用をしていますか？	○	○	○		
3) 水使用量の削減							
上水使用量の削減	節水の徹底	各蛇口の節水をしていますか？	○	○	○	以下実施済み	工場長
	漏水点検の実施	蛇口等の水漏れ点検をしていますか？	○	○	○		
4) 化学物質の管理							
化学物質の適正管理	適正使用量、保管量の把握を継続	化学物質管理台帳の運用、定期点検、記録にて継続管理していますか？	○	--	--	以下実施済み	化学物質管理担当者
		施錠された保管庫による紛失、誤使用防止をしていますか？	○	--	--		
	環境負荷物質調査依頼への対応	顧客からの適合要求に対しての迅速な情報提供をしていますか？	--	--	--	対象外	品質管理担当
	新しい化学物質使用の監視強化	該当物質について代替えなど検討および正しい届出がされているかの確認をしていますか？	--	--	--		

対象項目	取組内容	取組内容詳細	取組の実績（評価○/△/×を記入）			取組の実績（コメント）	実施担当
			柏MP課	柏営業	柏設備		
5) 環境に関する取組の向上							
現場の意識向上	各事業所ごとの目標を設定 各事業所のエネルギー使用実績の周知	各事業所にて目標を設定 全体ミーティングでの周知	○	○	--	一般廃棄物 15kg減、廃プラ 55kg減、年間 10%以上削減 達成	環境管理 責任者
6) 製品およびサービスへの環境配慮							
不良の削減 IT技術の活用 環境負荷物質の製品への 含有の削減、禁止	業務の効率化（不良の削減、IT技術の活用） 顧客要求に従った環境負荷物質の製品への含有の削減、禁止の徹底	RoHS指令REACH対応管理規定に、規制物質の明確化、製造環境への混入防止策等を規定、管理していますか？	○	--	--	実施済み	工場長
		有機溶剤は決められた通り管理されていますか？	○	--	--		
		新規供給先について新規供給者評価を実施していますか？ (RoHSなど規制物質不含有証明が出来ない場合は取引を行ないません)	--	--	--	新規供給先なし	

ISO 内部監査に付随して確認

## 2. 数値目標（定量目標）

\*「目標」の値は基準年(2024年)の実績値、\*\*「評価」は達成率80%以上100% △：達成率50%以上80%未満達成 ×：達成率50%未満

対象項目	取組内容	評価	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	【参考】 年間
廃棄物の削減及びリサイクルの推進															
廃棄物の排出量の削減 (kg)	一般廃棄物	目標*	20	20	10	0	25	0	20	0	25	0	20	0	140
		実績	0	25	0	20	0	30	0	20	0	15	0	15	125
		評価**	○	○	○	×	○	×	○	×	○	×	○	×	○
	産業廃棄物 (プラスチック)	目標*	35	0	0	20	25	0	30	0	0	0	25	15	150
		実績	0	30	0	15	0	20	0	10	0	10	0	10	95
		評価**	○	×	○	○	○	×	○	×	○	×	○	○	○

年間評価：

- \*全体的に概ね目標達成している。
- \*一般廃棄物、産業廃棄物とも年初目標の5%削減を大きく上回る10%以上を削減できた。
- \*水漏れがないよう使用していない水道蛇口の点検を行った。

## 7-3. 三鷹本社

**(株)東興電機製作所（三鷹本社）**  
**2025年度 環境経営活動計画・取組結果と評価**

計画作成日：2025年 2月 3日、最終更新日：2026年 2月27日  
 作成者：馬場 桂（環境管理運営委員会）、評価・責任者：柳橋英寿、承認者：川本 純子（環境管理責任者）

**■取組内容**

## 1. 行動目標（定性目標）

評価者：柳橋 英寿

対象項目	取組内容	取組内容詳細	取組の実績（評価○/△/×：コメント）				実施担当
			4-6月		7-12月		
			評価	コメント	評価	コメント	
1) 環境負荷の低減 - 省エネルギーの推進							
CO2排出量の削減 - 電力使用量の削減	不要照明の消灯	・ 各部所において、不要箇所の頻繁な消灯(昼休みは消灯)	○	エアコンは基準温度通りに使用すると十分な効果が得られないので、健康を守るために、基準温度よりも負荷のかかる設定にせざるを得ない	○	エアコンは基準温度通りに使用すると十分な効果が得られないので、健康を守るために、基準温度よりも負荷のかかる設定にせざるを得ない	全従業員
	周辺機器の節電	・ 長時間不使用時にはPCをスタンバイモードもしくは電源OFF	○	エアコンは基準温度通りに使用すると十分な効果が得られないので、健康を守るために、基準温度よりも負荷のかかる設定にせざるを得ない	○	エアコンは基準温度通りに使用すると十分な効果が得られないので、健康を守るために、基準温度よりも負荷のかかる設定にせざるを得ない	
		・ 暖房便座は、夏期は電源を落とし使用後は蓋を閉める	—		—		
		・ 電気ポットの長時間の保温を避ける	○		○		
		・ 冷蔵庫の温度調整は室温に合わせて調整する	○		○		
	室内温度調節の徹底（エアコン）	・ 冷房温度28°C±1°C、暖房温度20°C±1°Cに設定、クールビズ、ウォームビズを実行	△	エアコンは基準温度よりも負荷のかかる設定にせざるを得ない	△	エアコンは基準温度よりも負荷のかかる設定にせざるを得ない	
・ エアコンのフィルター清掃及び点検の実施		—	—	—	—		
・ 遮光スクリーン、ブラインド及び窓の開閉で室温調整	○	○	○	○			
CO2排出量の削減 - ガソリン使用量の削減 - 軽油使用量の削減	車両の点検整備の徹底	・ 点検整備を適宜実施し、燃費を向上させる	○	社用車の使用は少なくなった	○	社用車の使用は少なくなった	車両使用者
	エコドライブの実践	・ エコ運転、アイドリングストップの励行	○		○		
		・ 燃費効率の良い配送経路の検討	○		○		
		・ 交通法規の順守、過積載の禁止	○		○		
適切な資源の選択、設定	・ 公共交通機関での移動を心がける	○	○	○	○		

対象項目	取組内容	取組内容詳細	取組の実績（評価○/△/×：コメント）				実施担当
			4-6月		7-12月		
			評価	コメント	評価	コメント	
2) 廃棄物の削減及びリサイクルの推進							
廃棄物の排出量の削減 廃棄物の適正管理	分別の徹底	・ゴミの分別を徹底する	○	使用済みインクカートリッジは十分溜まってから業者指定のリサイクル店に持っていき	○	プリンタに省インクモードが無いので、利用できない	全従業員
	3R（リデュース、リユース、リサイクル）の徹底	・使用済みインクカートリッジは業者指定のリサイクル店に持つ	△	業者指定のリサイクル店に持つ	△		
		・部材の端材等の有効利用	○	ていくようにしている	○		
	紙資源の削減（ペーパーレス）	・社内文書の電子化（電子メールの活用）	○		○		
		・両面印刷や集約印刷、省インクモードでの印刷	△		△		
・社内文書の裏紙利用		○		○			
3) 水使用量の削減							
上水使用量の削減	節水の徹底	・各蛇口の節水、ルールの徹底	—	水はオフィスビル共用	—	水はオフィスビル共用	全従業員
	漏水点検の実施	・蛇口等の水漏れ点検	—		—		
4) 化学物質の管理							
化学物質の適正管理	適正使用量、保管料の把握を継続	・化学物質管理台帳の運用、定期点検、記録にて継続管理	—	化学物質管理チームで、しっかり管理している	—	化学物質管理チームで、しっかり管理している	管理担当者 品質管理室
		・施錠された保管庫による紛失、誤使用防止	—				
	環境負荷物質調査依頼への対応	・顧客からの適合要求に対しての迅速な情報提供	○		○		
	新しい化学物質使用の監視強化	・該当物質について代替えなど検討および正しい届出がされているかの確認	—		—		

対象項目	取組内容	取組内容詳細	取組の実績				実施担当
			4-6月		7-12月		
			評価	コメント	評価	コメント	
5) 環境に関する取組の向上							
現場の意識向上	以下のような情報を伝える掲示物を定期的に作成し各拠点に掲示することにより、環境意識の向上を促す ・事業活動における直近のエネルギー使用量・廃棄物量	・全体ミーティングにて各拠点のエネルギー使用量・廃棄物量を周知する ・掲示物を定期的に作成し各拠点に掲示する	○	周知・徹底されている	○	周知・徹底されている	環境管理責任者
6) 製品およびサービスへの環境配慮							
不良の削減 IT技術の活用 環境負荷物質の製品への含有の削減、禁止	業務の効率化(不良の削減, IT技術の活用) 顧客要求に従った環境負荷物質の製品への含有の削減、禁止の徹底	・業務の効率化 (IT技術の活用) を行いましたか?	○	ITサービス部があるため、十分活用している	○	ITサービス部があるため、十分活用している	全従業員

## 評価基準

○：達成率 80%以上 100%    △：達成率 50%以上 80%未満達成    ×：達成率 50%未満

## 2. 数値目標（定量目標）

\*「目標」の値は基準年(2024年)の実績値、\*\*「評価」は○：達成率80%以上100% △：達成率50%以上80%未満達成 ×：達成率50%未満

対象項目	取組内容	評価	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	【参考】 月平均	
1) 環境負荷の低減 - 省エネルギーの推進																
CO2 排出量の 削減	電力使用量の削減 (kWh/人)	目標*	146.50	142.17	129.33	84.17	77.83	94.17	128.33	124.17	104.17	82.33	81.33	106.17	108.39	
		実績	107.67	106.67	95.00	70.50	59.67	74.67	105.00	96.83	91.50	55.17	80.50	98.83	86.83	
		評価**	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	ガソリン使用量の削減 (L/人)	目標*	4.47	0.00	0.00	0.00	7.30	6.13	0.00	0.00	0.00	11.02	8.42	0.00	3.11	
		実績	0.00	0.00	8.03	0.00	0.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.61	0.00	0.74
		評価**	○	○	X	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2) 廃棄物の削減及びリサイクルの推進																
廃棄物の排出量 の削減 (kg/人)	一般廃棄物 (kg/人)	目標*	1.29	1.58	2.67	2.00	2.42	4.08	3.17	1.17	2.5	1.5	3.42	2.29	2.34	
		実績	0.83	2.88	1.00	1.13	1.46	2.42	2.75	1.71	1.08	1.96	1.75	3.38	1.86	
		評価**	○	X	○	○	○	○	○	○	○	○	○	X	○	

毎月の電気使用量が減っている。昨年も冬は寒く、夏は暑かったので、エアコンの使用量が下がったとも思えないし、残業はほとんどなかったが、オフィス内のエアコンの入れ替えがあったので、それが原因と思われる。

2025年は社用車の利用が少なかったため、ガソリンの使用量も減った。

## 7-4. 全社

## ■取組結果と評価

対象項目	取組の実施状況	評価						
1) 環境負荷の低減 - 省エネルギーの推進								
CO2排出量の削減	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="flex: 1;"> <p style="text-align: center;"><b>2024年 vs 2025年 - CO2排出量 比較 (全社)</b></p> <p style="text-align: center;">kg-CO2/人</p> </div> <table border="1" style="margin-left: 10px;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="background-color: #d9ead3;">2024年</th> <th style="background-color: #d9ead3;">2025年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年平均</td> <td style="text-align: center;">58.06</td> <td style="text-align: center;">67.02</td> </tr> </tbody> </table> </div>		2024年	2025年	年平均	58.06	67.02	<p>評価：<b>前年比で増加した</b></p> <p>影響要因：猛暑によるエアコン使用量の増加や、軽油の使用量の増加がCO2の増加につながったと思われる。</p> <p>次年度目標：現状を維持できるよう、取組を実施する。</p>
	2024年	2025年						
年平均	58.06	67.02						
CO2排出量の削減 - 電力使用量の削減	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="flex: 1;"> <p style="text-align: center;"><b>2024年 vs 2025年 - 電力使用量 比較 (全社)</b></p> <p style="text-align: center;">kWh/人</p> </div> <table border="1" style="margin-left: 10px;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="background-color: #d9ead3;">2024年</th> <th style="background-color: #d9ead3;">2025年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年平均</td> <td style="text-align: center;">128.28</td> <td style="text-align: center;">133.48</td> </tr> </tbody> </table> </div>		2024年	2025年	年平均	128.28	133.48	<p>評価：<b>前年比で増加した</b></p> <p>影響要因：猛暑によるエアコン使用の増加が一因と思われる。</p> <p>次年度目標：現状を維持できるよう、取組を実施する。</p>
	2024年	2025年						
年平均	128.28	133.48						

対象項目	取組の実施状況	評価						
CO2排出量の削減 - ガソリン使用量の削減	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="flex: 1;"> <p><b>2024年 vs 2025年 - ガソリン使用量 比較 (全社)</b></p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: 0;"> <thead> <tr> <th>2024年</th> <th>2025年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年平均</td> <td>1.79</td> </tr> <tr> <td></td> <td>1.31</td> </tr> </tbody> </table> </div> </div>	2024年	2025年	年平均	1.79		1.31	<p>評価：<b>年間を通じて削減された</b></p> <p>影響要因：公共交通機関を使用することが増えたため、ガソリンの使用量が削減できた。</p> <p>次年度目標：現状を維持できるよう、取組を実施する。</p>
2024年	2025年							
年平均	1.79							
	1.31							
CO2排出量の削減 - 軽油使用量の削減	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="flex: 1;"> <p><b>2024年 vs 2025年 - 軽油使用量 比較 (全社)</b></p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: 0;"> <thead> <tr> <th>2024年</th> <th>2025年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年平均</td> <td>2.79</td> </tr> <tr> <td></td> <td>4.57</td> </tr> </tbody> </table> </div> </div>	2024年	2025年	年平均	2.79		4.57	<p>評価：<b>前年比で増加した</b></p> <p>影響要因：納品先が遠方になったこと、また納品量の増加に伴い、軽油の使用量が増加した。</p> <p>次年度目標：宅急便や定期チャーター便を使用することを再検討するなど、現状を維持できるよう、取組を実施する。</p>
2024年	2025年							
年平均	2.79							
	4.57							

2) 廃棄物の削減及びリサイクルの推進								
<ul style="list-style-type: none"> <li>- 廃棄物の排出量 (t/人) の削減</li> <li>- 廃棄物の適正管理</li> </ul>	<p style="text-align: center;"><b>2024年 vs 2025年 - 廃棄物量 比較 (全社)</b></p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th></th> <th>2024年</th> <th>2025年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年平均</td> <td>5.52</td> <td>4.21</td> </tr> </tbody> </table>		2024年	2025年	年平均	5.52	4.21	<p>評価: <b>年間を通じて削減された</b></p> <p>影響要因: 各工場で廃棄物の削減を目標とし、取組を実施した結果、削減できた。</p> <p>次年度目標: 現状を維持できるよう、取組を実施する。</p>
	2024年	2025年						
年平均	5.52	4.21						
3) 水使用量の削減								
<ul style="list-style-type: none"> <li>- 上水使用量 (m<sup>3</sup>/人) の削減</li> </ul>	<p style="text-align: center;"><b>2024年 vs 2025年 - 水使用量 比較 (全社)</b></p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th></th> <th>2024年</th> <th>2025年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年平均</td> <td>0.52</td> <td>0.57</td> </tr> </tbody> </table>		2024年	2025年	年平均	0.52	0.57	<p>評価: <b>前年比で増加した</b></p> <p>影響要因: 日常的に節水についての取組がなされているが、削減できなかった。</p> <p>次年度目標: 現状を維持できるよう、取組を実施する。</p>
	2024年	2025年						
年平均	0.52	0.57						

対象項目	取組の実施状況
4) 化学物質の適正管理	
<ul style="list-style-type: none"> <li>- 化学物質の適正管理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・化学物質管理台帳の運用にて、適正使用量、保管量把握の継続</li> <li>・顧客からの環境負荷物質調査への対応</li> <li>・新しい化学物質使用の監視強化</li> </ul>
5) 環境に関する取組の向上	
<ul style="list-style-type: none"> <li>- 現場の意識向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・掲示物を作成し各拠点に掲示した</li> </ul>
6) 製品およびサービスへの環境配慮	
<ul style="list-style-type: none"> <li>- 不良の削減</li> <li>- IT技術の活用</li> <li>- 環境負荷物質の製品への含有の削減、禁止</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不良記録の徹底、再発防止処置の徹底</li> <li>・間接部門の作業効率化</li> <li>・帳票システム化による属人化の解消</li> <li>・環境負荷物質の製品含有の削減、禁止の徹底</li> </ul>



(株)東興電機製作所  
2025年度 環境教育・訓練計画および実績

計画作成日：2025年1月24日 計画改訂日：2025年4月4日 実績記録日：2026年2月9日  
作成・記録者：馬場 桂（環境管理運営委員会）、承認者：川本 純子（環境管理責任者）

■教育・訓練計画 / 実績

種類	対象者	目的	内容	頻度	責任者	講師	2025年度スケジュール												備考
							01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	
一般教育	全従業員	一般的な環境に対する自覚を高める	環境方針、環境目標、環境活動計画の徹底を図る	隔月	環境管理責任者	環境管理責任者 環境運営委員会委員		○		○		○		○		○		○	全体会議で環境経営方針、目標について確認。 青梅：4/1、 柏：3/31実施 直近のエネルギー使用量・廃棄物量データを盛り込んだ掲示物の作成、掲示。
	部門責任者	環境経営の戦略的重要性の自覚を高める	EA21の内容、環境問題の現状、環境経営の必要性	1回/年以上	同上	環境管理責任者 環境運営委員会委員		○	●					○					ISO・EMS統合化の取り組みの一環として、内部監査にて実施。 青梅：2/19-21、5/27-30 柏：2/28実施
	新卒新入社員	新卒新入社員の導入教育	会社で生活/仕事を始めるにあたっての導入教育	1回/年	各拠点責任者	社内講師				○	○	○							仕事をする上での心構え、作業の基本を学ぶ。 中途採用の社員については、随時導入教育を実施する。
	全従業員	緊急事態発生時に適切に対応する	消防法に基づく防災訓練	同上	同上	外部講師/動画				●								○（9-12月中に実施）	消防法に基づく防災訓練 柏：4/9実施 三鷹：9/16-19動画視聴 「ネットで自衛消防訓練」 青梅：12/26実施
専門教育	全従業員	作業効率UP 不良削減	特殊工程教育	1回/年	同上	社内講師				○									製品およびサービスへの環境配慮の目標である不良削減へ向け、特殊工程教育の実施

\*保管：環境管理運営委員会 計画：○ 実績：●

## 消防訓練の実施

各拠点において、消防訓練が実施しましたので、報告します。

### 【青梅工場】

2025年12月26日（金）

参加者：37名

- 青梅工場内の避難経路(非常階段)等の説明
- 消火器の使用法の説明
- 避難時の方法の説明
- 一時避難場所の説明
- 役割分担の説明

【評価】消火器の使い方や避難経路の説明、役割分担をした事で一時避難が戸惑いなく出来る様になった。

### 【柏事業所】

2025年4月9日（水）

参加者：8名

- 通報訓練
- 避難訓練

【評価】消火器を使用して模擬消火を行う訓練があるが消火器に触れたことがないメンバーが多数のため大変有意義であった。ただし各事業所2名のため柏事業所全員が経験できるようにしていきたい。

### 【三鷹本社】

2025年9月16日～19日にかけて、4名のスタッフが、消防庁制作のネット動画による消防訓練を実施しました。

【課題】動画自体はよくできておりわかりやすいのですが、実際の現場での訓練では無いので、実際に火災に遭遇した場合に、動画のように手際よくいくかどうかの懸念があります。

# 8. 活動内容の紹介

## 内部コミュニケーション

工場および本社内の掲示物作成  
 集合ミーティングや掲示物にて、電気  
 使用量、水使用量、廃棄物量のデータ  
 を定期的に社員へ向けて発信し、環境  
 経営活動へのモチベーションの持・強  
 化を図っています。

**TOKO DS**  
エコアクションへの取組

“環境問題に社員全員が関心を持ち、会社として何ができるか考え、具体的に行動していこう”

2008年新年、この社員の皆様から当社のエコ活動は始まりました。

その後、2008年4月に「エコアクション21」(国際規格の環境マネジメントシステムに関する国際規格)の認証を取得。2019年には、認証・登録10年継続企業として表彰されました。

現在、エコアクション21のガイドラインに則り、省エネ・省資源・廃棄物削減などの環境保全活動に継続して取り組んでいます。

「環境活動」についての社内情報ページ

**エネルギー使用量・廃棄物量 2021年10月集計データ**

資料電機製作所では、エネルギー使用量 (CO<sub>2</sub>排出量: 電気、ガソリン、軽油、水)・廃棄物量のデータ単位で把握・集計し、環境負荷削減の取り組みに役立てています。

### エネルギー使用量

**青梅工場の電気使用量**  
(一人当たりの量、数値比)

数値	2021年	2020年
前年対比比率	224.22	161.40
1月~9月までの平均(前年)	191.18	183.50

※2020年~2021年間に比べ、青梅工場の大規模なリニューアル工事を実施し、省エネ対策を進め、省エネ効果により電気使用量が減少したことが要因です。また、2021年10月の集計データは、10月10日までの集計データです。

**青梅工場の水道使用量**  
(一人当たりの量、数値比)

数値	2021年	2020年
前年対比比率	0.54	0.60
1月~10月までの平均(前年)	0.64	0.60

※2020年~2021年間に比べ、青梅工場の大規模なリニューアル工事を実施し、省エネ対策を進め、省エネ効果により水道使用量が減少したことが要因です。また、2021年10月の集計データは、10月10日までの集計データです。

### 廃棄物量

資料電機製作所 青梅工場では、「資源物(廃棄物の処理及び再利用に関する条例)にもとづき、廃棄物の減量・適正処理、高利用の促進に取り組んでいます。

**青梅工場の一般廃棄物(可燃ごみ)**  
(一人当たりの量、数値比)

**青梅工場の産業廃棄物**  
(一人当たりの量、数値比)

**参考：廃棄物総計**  
(一人当たりの量、数値比)

**参考：廃棄物削減**  
(削減率)

※2020年~2021年間に比べ、青梅工場の大規模なリニューアル工事を実施し、省エネ対策を進め、省エネ効果により廃棄物量が減少したことが要因です。また、2021年10月の集計データは、10月10日までの集計データです。

皆さん一人一人の気持ち・行動が、環境保全につながります。引き続き、ご協力の程お願いします。  
 「エコアクション21」編入: 電機、製作所

## 外部コミュニケーション

企業 Web サイトでの情報発信

企業 Web サイト内に、「エコアクション 21」への取り組みを紹介するページを設けて毎年レポートを掲載しているほか、「当社の環境負荷物質への対応について」というページでは、製造時に調達する部材や資材、その他物品に関する管理体制や、各国化学物質規制への対応状況について記載し、当社の取り組みを周知しています。

■ 「人と地球にやさしい環境づくり」ページで  
環境経営レポートを公開

<https://www.tokods.com/about-us/environment/>



The screenshot shows the '人と地球にやさしい環境づくり' (Creating a friendly environment for people and earth) page. It features a navigation menu with 'HOME', 'EMS・OEM', '東興電機の強み', '技術翻訳', 'ITサービス', and '会社案内'. Below the header, there are links for '企業行動指針', 'アクセスマップ', '品質管理', '環境活動', and '当社の環境負荷物質への対応'. The main content area includes a section titled '当社の環境方針' (Our Environmental Policy) with six numbered points: 1. Reducing electricity consumption in manufacturing and IT services. 2. Reducing environmental burden for all employees, saving energy, and reducing waste. 3. Reducing defects and early delivery, and utilizing IT technology for efficiency. 4. Aiming for improvement in environmental safety for all employees. 5. Promoting environmental safety activities for all employees. 6. Adhering to laws and regulations and other requirements. Below this is the 'エコアクション21' (EcoAction 21) section, which states that the company has been certified since April 2009 and is committed to environmental activities.

■ 「当社の環境負荷物質への対応について」ページで  
RoHS2) 指令への対応状況についても説明

<https://www.tokods.com/about-us/environment/rohs2/>



The screenshot shows the '当社の環境負荷物質への対応' (Response to Environmental Burdening Substances) page. It features a navigation menu with 'HOME', 'EMS・OEM', '東興電機の強み', '技術翻訳', 'ITサービス', and '会社案内'. Below the header, there are links for '企業行動指針', 'アクセスマップ', '品質管理', '環境活動', and '当社の環境負荷物質への対応'. The main content area includes a section titled '各国化学物質規制への対応' (Response to International Chemical Substance Regulations) which explains the company's commitment to providing safe products and its adherence to RoHS2 regulations. It also mentions the use of PFPA (Perfluoropolymer) and the company's commitment to reducing environmental burdening substances. Below this is the '当社の化学物質管理体制' (Our Chemical Substance Management System) section, which describes the company's management system based on its 'Chemical Substance Management Guidelines' and 'Risk Management Guidelines'. At the bottom, there is a diagram showing the '東興電機製作所' (Tokodenki Manufacturing Plant) and the '品質管理室' (Quality Control Room) with arrows indicating the flow of information and materials.

## 9. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

環境関連法規の違反・訴訟等は、当社の環境関連法規制一覧表にてチェックした結果、過去および現在において一切ありませんでした。また、創業以来、関係機関等からの法規制違反の指摘、近隣からの指摘・苦情もありません。なお、下記法規制等が当社に該当いたします。

- 法律 -

環境基本法

循環型社会形成推進基本法

RoHS 指令

REACH 規制

化学物質排出把握管理促進法 PRTR 制度

廃棄物の処理及び清掃に関する法律

道路運送車両法

消防法

労働安全衛生法有機溶剤中毒予防規則

労働安全衛生法労働安全衛生規則

グリーン購入法

フロン排出抑制法

製造物責任（PL）法

プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律

- 条例 -

【東京都】

東京都環境基本条例

東京都健康と安全を確保する環境に関する条例

（東京都環境確保条例等）

【武蔵野市】

武蔵野市廃棄物の抑制・再利用と適正処理及びまち

の美化に関する条例

【青梅市】

青梅市廃棄物の処理及び再利用促進に関する条例

【千葉県】

千葉県廃棄物の処理の適正化等に関する条例

- 顧客要求事項 -

各社グリーン調達基準/ガイドライン



## 10. 外部からの苦情などの受付状況及び対応結果

2025 年度、外部からの苦情はありませんでした。

## 11. 代表者による全体評価と見直しの結果

本年度は、主要客先向けの増産対応や天候状況（猛暑）の影響を受け、CO2 総排出量では昨年実績に対し増加という結果になった。

ガソリン使用料は昨年に対し削減されたが、ここ最近の中東情勢の変化によりエネルギー価格が高騰しつつあり、

来年度はより一層効率的な社有車の使用を心掛けるようにしていきたい。

一方で、毎月の全体会で環境対応の周知は行っており、また、化学物質の管理に対する顧客要求の高まりに対し組織として対応出来ており、全社的に高い環境意識を維持できている。

次年度についても方針、目標・計画に変更無く、継続して対応していく。

### 代表者の指示

	変更の有無	指示事項
方針	変更なし	無
目標・計画	変更なし	無
実施体制	変更なし	無